



2013年2月15日

プレスリリース

一般社団法人 日本原子力学会

2011年3月11日に発生した東日本大震災において、多くの方々が犠牲となられ、また被災されましたことについて心からお悔やみとお見舞いを申し上げます。

一般社団法人日本原子力学会は、社会的関心の高い科学技術である原子力の広範囲にわたる学術・技術専門家集団として社会への情報提供を行うため、本会の主要な活動等について、随時プレスリリースを行っています。

今回は、北朝鮮の核実験実施に対する抗議声明です。

北朝鮮(朝鮮民主主義人民共和国)の核実験に対する抗議声明

北朝鮮は、国際社会の強い自粛要請にもかかわらず、2013年2月12日、3回目の地下核実験を実施したと発表した。これは、東アジアのみならず、世界の安全と安定を脅かす挑発的行為である。日本原子力学会は、この愚行に対し嚴重に抗議する。原子力エネルギーは、人類の持続的発展、生存および地球環境保全にとって不可欠であり、平和的目的にのみ利用されるべきものである。

日本原子力学会は、原子力の平和利用に関する学術と技術の進歩をはかる専門家集団として、とくに今回の大量破壊兵器製造目的の核実験に加担した科学者・技術者・研究者に対し、猛省を促す。科学者・技術者・研究者の才能と知見は、自国のみの存続のために利用するのではなく、人類共通の財産として、人類の恒久的平和のために利用し貢献することであり、決して軍事利用に加担してはならない。そのため、どの国の核実験であっても、理由の如何を問わず、容認できない。

本会は、今後とも、原子力関連の学術、研究開発、産業に携わる専門家の団体として、核兵器のない国際社会の実現に向けた使命の重大さを深く認識し、国内の関係者、関係機関ならびに海外の学会・協会などとの一層の連携、協力を進め、原子力平和利用の発展に尽力を惜しまない所存である。

以上